



空気の質に自信あり。

清潔加湿
うるおい
加湿

500ml/h^{*1}の十分な加湿量で
いつも清潔なうるおい空間を作る！

*加湿運転は、運転切換にてON・OFFの選択が出来ます。

例えばこんなうるおい効果！



① クリーン&節電の気化式加湿

不純物の放出を抑制し、電力使用量の少ない気化式を採用。

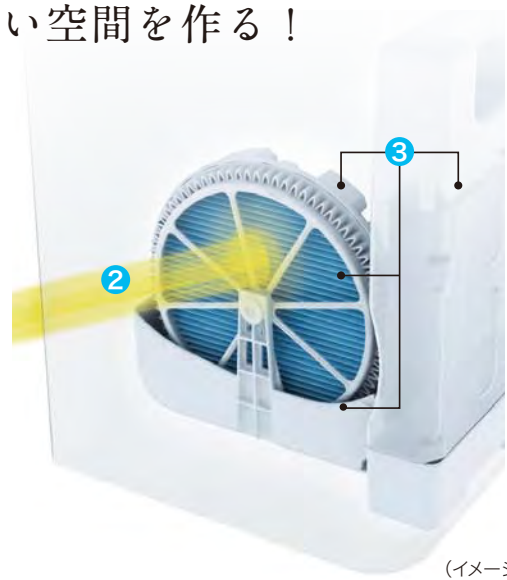
② 加湿フィルタークリーン機能

フィルターにオゾンをあてて清潔に保ちます。

③ 抗菌^{*2}コーティング

加湿フィルター・ウォーターホイール・
水トレイ・水タンクに抗菌^{*2}コーティング。

節電



(イメージ)

ここがお得
フィルター
交換コスト
0円^{*3}

加湿フィルターは
水洗いが可能で、
お手入れもカンタン。

冬の暖房時には
加湿をすると
体感温度がUP^{*4}
するので節電に
役立ちます。

ここがお得
加湿で
節電！

温・湿度センサー内蔵により室温にあわせて
自動調節する、快適湿度コントロール機能付き。

加湿運転モードの自動運転時において
室温に合わせて、目標湿度を目安に運転を行います。

- 室温22℃未満、目標湿度60%
- 室温22℃以上24℃未満、目標湿度50%
- 室温24℃以上、目標湿度40%

*1. JEM1426(電気加湿器)による室温20℃湿度30%で急速運転した時の加湿能力。*2. 一般財団法人ボークン品質評価機構(旧:財団法人日本紡績検査協会)にて、加湿フィルター:JIS L1902(2種類の菌で実施)、ウォーターホイール・水トレイ:JIS Z2801(2種類の菌で実施)、水タンク:JIS Z2801(1種類の菌で実施)による抗菌試験。抗菌活性値は、加湿フィルター:3.3以上、ウォーターホイール&水トレイ:2.5以上、水タンク:4.5以上。*3. 加湿フィルターは1ヶ月に1度の水洗いが必要で、タンクの水は毎日新しい水道水を入れ替え、本体水槽部は1ヶ月に1回程度手入れをして、常に清潔にお使いください。(ご家庭での運転時間・使用環境等により、交換が必要な場合があります。)*4. ミスナールの体感温度計算式より。湿度が高いほど体感温度が高くなることに基づく。

集じん
機能
ホコリ
花粉



例えばこんな汚れをキャッチ！



花粉やペットの毛を2つのフィルターでキャッチ&
プラズマイオンで付着したアレル物質を抑制！

① プレフィルター [水洗い対応]

綿ホコリやペットの毛など、空气中に漂う大きな
ホコリを取り除きます。

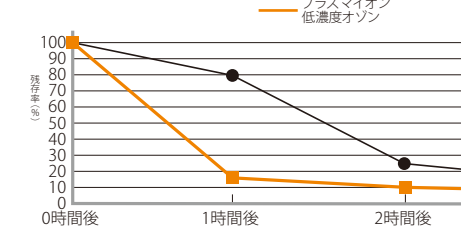
② 集じんフィルター [水洗い対応]

漂う花粉や細かいホコリなどをキャッチ。

③ プラズマイオン

床面に付着した花粉などのアレル物質にプラズ
マイオンと低濃度オゾン照射して抑制します。

スギ花粉抗原残存率



試験方法:日本食品分析センターにて、スギ花粉抗原をろ紙に滴下し、一定時間プラズマイオン・オゾン照射。ELISA法によりスギ花粉抗原濃度を測定。試験番号:11027248002-01号

④ プラズマイオン



ここがお得
フィルター
交換コスト
0円
繰り返し使える
水洗い対応
フィルターは、
洗うたびに^{*1}
性能も回復！

PLAZION[®]だけのツイン除菌^{*2}※4！

※2. 9ℓの密閉容器内で、24時間の培養試験を行い効果が検証されています。実使用空間での実証結果ではありません。

① 放出除菌^{*2}で抑制

付着菌^{*2}にも届きます。

空气中にプラズマイオンと低濃度オゾン^{*5}
をいっしょに放出。空气中の浮遊菌だけ
なく、家具やインテリアなどお部屋にある
ものに付着した菌も抑制します。

イオン濃度^{*6} 約40,000個/cm³

●放出される低濃度オゾン(0.03ppm以下)は時間の経過とともに酸素に戻ります。

② 吸引除菌^{*4}で抑制

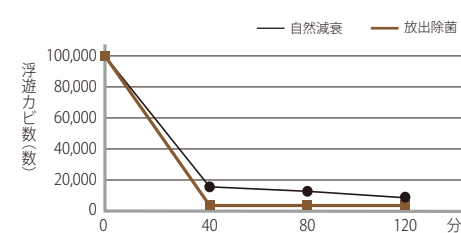
浮遊菌も素早く吸引！

浮遊菌を素早
く吸引し、オゾ
ンユニット内部
に取り込んで高
濃度オゾンによ
り除菌します。



(イメージ)

浮遊カビ菌: 放出除菌によるカビ菌の除去効果



財団法人北里環境科学センターにて、プラズマイオンを放出した1m³の密閉試験チャンバー内の、1種類の浮遊カビ菌の数の変化を測定。80分間で99.95%減少。【試験番号】北生発21_0280号

プラズマイオン
&オゾン
浮遊・付着菌^{*2}など
カビ菌^{*3}



例えばこんな菌を抑制します！



※1. 1ヶ月に1度の掃除機でのお手入れと、1年に1度の水洗いが目安です。(ご家庭での使用状況により、お手入れの頻度は異なってきます。また、使用状況によっては交換が必要な場合があります。)*2. 一般財団法人ボークン品質評価機構(旧:財団法人日本紡績検査協会)にて、試験菌液(1種類)を滴下したPEフィルムをプラズマイオンを発生させながら9ℓ容器内で24時間培養。生菌数が99.97%減少。【試験番号】028669*3. 一般財団法人ボークン品質評価機構(旧:財団法人日本紡績検査協会)にて、カビ菌(1種類)の胞子懸濁液をろ紙に塗布し、プラズマイオンを発生させながら28日間培養後観察。試験番号019190-1*4. 日本食品分析センターにて、寒天平板に菌液を滴下、塗布し、オゾン曝露させ、培養後生育した集落数を計測。2種類の菌で試験。2時間で99.2%を抑制。試験番号OS59070380-1号*5. プラズマイオン機能が動作している時に、わずかにプールの消毒臭のような臭いを感じる場合があります。*6. 「PLAZION(プラズイオン)」を壁際に置いて、風量最大運転時に20畳の部屋の中央付近で測定した空中に吹き出される1cm³あたりのイオンの個数の目安です。●このページは「DAS-303B」について説明しています。